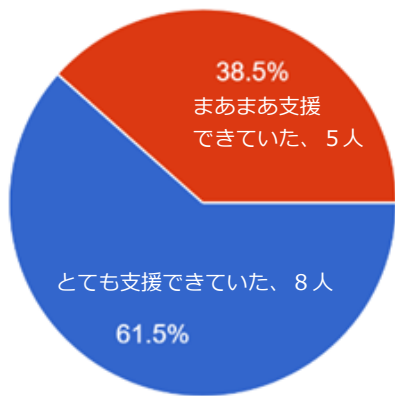
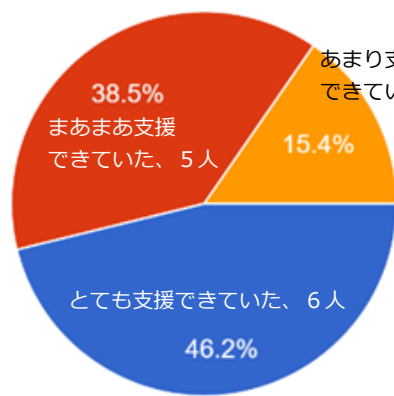


R2 モデル教室参加日本語教師・地域日本語教育コーディネーター

回答状況

対象者数	13 名	回答者数	13 名	回答率	100%
------	------	------	------	-----	------

回答内容

<p>交流員の日本語学習支援に対して</p>  <table><caption>交流員の日本語学習支援に対する回答</caption><tr><th>回答内容</th><th>人数</th><th>割合</th></tr><tr><td>とても支援できていた</td><td>8人</td><td>61.5%</td></tr><tr><td>まあまあ支援できていた</td><td>5人</td><td>38.5%</td></tr></table>	回答内容	人数	割合	とても支援できていた	8人	61.5%	まあまあ支援できていた	5人	38.5%	<p>交流員の学習者と地域をつなげる支援に対して</p>  <table><caption>交流員の学習者と地域をつなげる支援に対する回答</caption><tr><th>回答内容</th><th>人数</th><th>割合</th></tr><tr><td>とても支援できていた</td><td>6人</td><td>46.2%</td></tr><tr><td>まあまあ支援できていた</td><td>5人</td><td>38.5%</td></tr><tr><td>あまり支援できていなかった</td><td>2人</td><td>15.4%</td></tr></table>	回答内容	人数	割合	とても支援できていた	6人	46.2%	まあまあ支援できていた	5人	38.5%	あまり支援できていなかった	2人	15.4%
回答内容	人数	割合																				
とても支援できていた	8人	61.5%																				
まあまあ支援できていた	5人	38.5%																				
回答内容	人数	割合																				
とても支援できていた	6人	46.2%																				
まあまあ支援できていた	5人	38.5%																				
あまり支援できていなかった	2人	15.4%																				
<p>日本語学習支援ができていたと感じる点</p> <ul style="list-style-type: none">・学習者が授業内容を理解しづらかった場合、アドバイスや疑問点など<u>学習者と共に考え解決してくれた</u>。教師としては1人では手が回らないところを補助して貰い心強く授業に臨むことができた。・コロナ禍ということもあり、日本人との関わりがより一層希薄になっている中、易しい日本語を理解している日本人と実際に話す機会が持てたことは、彼らの日本語の向上等に大きく影響したかと思います。<u>日本語交流員がいなければここまでたくさんの会話は生まれなかった</u>と思いますので、重要な役割を担っていただけていたと思います。・学習者さん達の自発的な発話や、笑顔が増えたとき。・レベルに合わせて個別にサポートをしているとき・<u>学習者のニーズに合わせて支援してくれていた</u>。自主的に教材を共有してくれた交流員もいた。学習者との会話の中で、積極的に学習した文型を使い、定着させようとする姿勢が感じられたとき。・会話の時間の後、受講者さんが楽しそうな様子を見て、成果は出たのではないかと思います。話した内容も問うべきなのかもしれませんが、それ以上に<u>受講者さんと交流員さんが「普通の」「やさしい」日本語で会話することの方に重きをおいた方がいいのではないかと思います</u>。・グループに分かれて会話練習をする際、日本語交流員の方が会話相手となりモデルを示したり、受講者の発話を訂正したりしていた・学習者の話をじっくり聞いて、それに応えようとしていました。地域の教室であるため、学習者には大きなレベル差があり、また人数が多かったため、<u>教師だけの工夫ではカバーできないところ</u>がありました。学習内容によっては、易しすぎたり、難しすぎたりしたが、個々のレベルに丁寧に寄り添えたのは、交流員さんの力によるところが大きいと思います。・授業を進行するときに語彙やこちらの支持を受講者の方がきちんと理解できるように対応してくれました。また、最終授業のスピーチの準備をするときに丁寧に受講者の方の話を聞きだして、スピーチの内容を考える手助けをしてくれました。																						

R2 モデル教室参加日本語教師・地域日本語教育コーディネーター

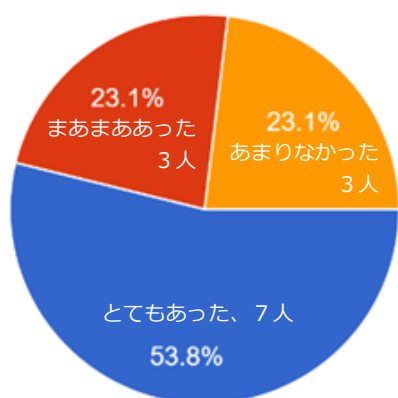
学習者と地域をつなげられていると感じた点

- ・市の防災危機管理の方やごみ減量アドバイザーの方の話を聞いたり、ゲームなどができた事は素晴らしい。上田市が一丸となって外国籍の方を見ていることが少しでも外国籍の皆さんの安心につながっている。特に、ごみ減量に関しては身近な問題であったので、授業の中で一番楽しかった思い出になったようです。
- ・松本地域においては評価が分かれるかもしれませんが（松本地域の受講者さんが少なかったため）。ただ受講者さんたちがこれを機に地元の日本語教室に行ってみたり、地域の集まりなどに参加するきっかけづくりになっていたらいいと思います。
- ・支援の中で、外国人学習者が地域の日本語教室に通いたいので紹介してほしいという話がありました。オンラインから地域の対面式教室のつながりができてよかったと思います。
- ・今回、教室活動に地域をつなぐ内容が取り入れられた（防災、町歩き）。学習者の住んでいる地域について、尋ねてくれた。
- ・地域特有の話題を提供したりされたりしていることが感じられたとき
- ・仕事以外では日本人と接点がない学習者が地域の方と接することができた
- ・日本語の勉強以外のことでも親しく受講者の方たちと会話していたり、日本語教室が終わっても交流が続いていることから

外国人学習者と地域をつなぐことができなかった理由

- ・交流員さんが地元の方ではなかったため、地域とつなぐという点では難しかったと思います。やはり、地域とつなぐためには、交流員さん本人がしっかり地域とつながっている必要があると思います。交流員さんが当該地域の方であり、すでにいろいろな方とのネットワークがあることが望ましいです。ただ、必ずしも当該地域に関わりない場合もあるので、その場合は、その地域の核となる団体の活動にしっかり入ったり、団体の方と交流を取る姿勢が必要だと思います。また、交流員さんは外国人学習者と日本人をつなぐだけの存在ではないので、交流員さん同士もつながりを大切にしてほしいと思いました。地域とつなぐという意味では、交流員さん自身のつながろうとする意識は人によって大きく意識が違ったように思います。その意識の違いが、地域とつなぐ意識の差になっていたと思います。交流員さんの意識の中に日本語支援は強くありましたが、地域とつなぐという意識が人によって違っていたように思います。まずは交流員さん自身もいろいろな人につながることをしようとしてもらえればよかったと思います。

自身の意識の変化



- ・学習者と支援者の意思の疎通も元は遠慮がちであったがスピーチを目標に作文を書いたりする頃には打ち解けてだいぶ親しくなってきた。
- ・特に地域に暮らす実習生の実情や、そのほか地域・県の日本語教育に関わることを活動の中で学ぶことができ、視野が広がったように思います。
- ・複数の場所から交流員が集まることにはじめ、心配があった。しかし、教室活動をやってみると、交流員の多様性のおかげで、より豊かな対話や活動が展開できた。

R2 モデル教室参加日本語教師・地域日本語教育コーディネーター

- ・実際ベトナム人技能実習生と会話をしながら授業をしたことで、技能実習生の実際の姿を知ることができ、彼らが日本語教室にどんなことを求めているかがわかったので、日本語だけではなく広い意味での支援という視点も持つことができるようになったと思う。
- ・地域の日本語教室は学習者のレベル差がとても大きく、またそれを分けるだけの余裕もあまりないのが、地域の教室の現状なので、それをカバーするのが交流員さんを始め、ボランティアさんの力だとわかりました。さらに、地域の日本語教室には、日本語学習をするという目的だけでなく、居場所、つながり、情報収集、友だちができる場など、いろいろな側面があります。そのために必要なものが日本語です。日本語教師が、みんなを結びつける基礎を作っているのだと思いました。日本語を教えることが、日本語教師の使命であり、目標ではありますが、その先にある地域のつながり、この地域で生きていく外国人と日本人をつないでいくことを見通し、日本語教室を行うことが大切であると、今回わかりました。
- ・いろいろな学習者の方に合わせた教え方をもっと考えていかなければならないと思ったことと、日本語を教えることを通して地域交流にかかわる活動に今後もかかわっていきたいと思いました。

日本語交流員が地域日本語教室にいる場合といない場合の違い

- ・交流員がいる日本語教室は学習者が授業内容が理解しやすい。また、国際交流の意味でも学習者の発話の機会も多くとても良いと思う。
- ・会話の充実に大きな違いが出ると思います。日本語教師から一斉に学ぶだけではなく、それを実践し、さらに話題を広げることができるというのは教室活動の幅を大きく広げますし、学習者の満足度を高めることにもつながるのではないかと思います。
- ・今回、たまたま日本語教師としての実績のある交流員方々と教室づくりを進めていくことができたが、交流員個人個人の資質と意欲によると思う。
- ・教師と学習者一人一人の距離が少し遠く感じました。理解度などが感じ取りづらくなりました。日本語交流員は、研修を受けて、それぞれの地域で活躍してくれている方々なので、教室活動がよりスムーズに進むのではないかと。
- ・いない場合を経験していないので、比較ができないが、実際話してみましょう、という時間に交流員さんも加わって会話することで、会話のバリエーションが生まれ、複数の日本人の日本語に触れられるのは学習者にとって有益だと思う。
- ・教師一人で十数人の受講者さんの授業を行うのは大変だったと思います。
- ・教師一人では学習者との会話の機会に限界があるが、交流員がいることで日本人との会話の機会、交流の機会が増え、学習者がより地域を知ることができる。
- ・以前から日本語教室が地域の日本語教育のすべてを担うのは大変だと思っていました。できれば、日本語教師が核となり教室を回せればと思っていました。今回、実際に日本語教師として関わることで、よりボランティアが楽しく、でも負担は軽く活動ができ、学習者は、ある程度、質を保った教室活動ができることを再確認しました。交流員の方から、毎回楽しいという意見も聞けたので、負担軽減になっていたと思います。
- ・教師一人だと学習者の方一人一人に対応するのは難しいが、交流員の方がいると対応していただけるので、学習者の方も満足のいく授業になるのではないかと思います。

R2 モデル教室参加日本語教師・地域日本語教育コーディネーター

感想

- ・1月27日に、第2回「上田市みんなの日本語教室」を終えた。なごやかなムードでスピーチも終了してLINEもそれぞれ交換していた。
- ・「終わりよければ全てよし」とは言うものの、少し残念に思う事があった。第一回目の教室では20名の申し込みがあったが、最終的には4名が残っただけであった。もう少し多くの外国籍の方に継続してもらうことができなかったか、何が問題だったのか、検証しなくてはならないと思う。多くの人にこんなに素晴らしい日本語教室があるのもっと継続してほしいと思う。
- ・オンライン開催ということで不安はあったものの、実践をする中で見えてきたことが数多くあり、自分の今の活動にも生かすことができていると思います。とても貴重な体験でした。
- ・交流員の方として意識する場面はあまりなかった。
- ・地域の日本語教室に今回のような形で日本語教師が入るとするのは効果的ではないように感じました。理由は以下の通りです。

地域の教室では受講者のレベルや学習目的を限定するのが難しい。レベル差などがありすぎると、交流員の個別サポートがあっても、教師一人で一つの授業をやるのには無理がある。コーディネーター、教師、交流員それぞれ、日本語教育に対する考え方ややり方が異なる。三者が協力して取り組む教室なので、コーディネーターや交流員からいただいた意見を取り入れたが、三者の考えを継ぎ接ぎしたものになり、コンセプトのない授業になってしまった。
- ・毎回、アンケートや授業後のふりかえりで、交流員の方々から意見を聞く機会が取れたことはよかった。対話するミーティングの時間が2～3回あると（有償で）、よりモデル事業が含められるのではないかな。
- ・交流員の方が熱心かつ謙虚に、でも楽しそうにいつもいて下さってありがたかったです。私も楽しかったです。
- ・多くの受講者さんたちが日常生活において日本語を使う機会が少ない現状において、日本語交流員が参加するモデル教室は、学んだ日本語を実際に使うことができるいい機会だと思います。また交流員にとっても、どんな日本語なら受講者さんにわかってもらえるか考えるいい機会になったのではないのでしょうか。日本語教師としてもいろいろなことを考えることができる有意義な機会でした。ありがとうございました。
- ・参加された交流員の方が限定的で、せっかく講習を受けて交流員になった数十人の方が実際に活動されていないのが残念だと思った。
- ・毎回楽しく参加させていただきました。以前からボランティアとして参加していた教室だったので、交流員さん以外のボランティアさんは、お互い気心がしれていて、外国人学習者も知っている方が多く、教室の感じはよくわかっていました。逆に、今回交流員さんは初めてお会いすることが多く、戸惑うことがありました。コロナ禍もあり、なかなかみんなでイベントをするなどの機会が制限されたせいもありますが、交流員さんとボランティアの位置づけが、よくわからず、もうすこし両者の調整がとればよかったと思います。おそらく、学習者の側に立って考えれば、ボランティアと交流員は同じ立場ですが、関わりの長さから考えると、交流員さんよりボランティアさんの方が慣れているので、そのあたりの調整が難しかったです。教室活動だけでなく、いっしょにイベント参加することもつながりを深めるのには有効と思うので、交流員さんには、ボランティアさんといっしょにイベントに参加するような気持ちを持ってほしいと思

R2 モデル教室参加日本語教師・地域日本語教育コーディネーター

います。(今回の方が、そのような気持ちがないという意味ではありません。今年はイベントがなかったので、なんとも言えません)。また、既存の教室には、今まで積み上げてきた思いやりがあり、それに共感した人が集まっているので、そこに急に入ってこられる交流員さんが、どのように教室の意図を理解し、いっしょに活動していくかについて、交流員さん側が、配慮していく必要があると思います。研修を受けていたり、他地域でも活動されている方が多いので、ご意見はあるかとは思いますが、既存の教室は、いろんな思いで、つないできた大切な教室であるので、まずは交流員さん側が、参加する教室について理解を示す気持ちを持ってもらいたいです。今回については、特に大きな問題はなかったですが、今後、既存のボランティア教室とモデル教室を同時に運用する際の課題かと思います。

- ・上田市の交流員の方は本当に親切で、丁寧に受講者の方に接してくださっていたので授業の際に助かりました。また是非、日本語教室を開講してほしいです。